2025年3月期第2四半期決算說明会

特種東海製紙株式会社(プライム3708)

財務情報

連結業績(前年同期比)



(単位:百万円)	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
売上高	42,615	46,572	+3,957	+9.3%
営業利益	783	1,873	+1,090	+139.1%
経常利益	2,949	3,059	+110	+3.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,328	2,096	▲232	▲10.0 %

売上高

- 特殊素材、生活商品における 価格改定効果
- 環境関連の拡大

営業利益

環境関連の売上増加による増益に加え、特殊紙やトイレットペーパーの価格改定等が発現

経常利益

● 持分法投資利益が前年比 で減少

━ 2025年3月期第2四半期 連結業績サマリー



第2四半期 実績	進捗率	2024年5月発表 業績予想		
売上高 46,572 _{百万円}	50.1 %	93,000 > 95,000百万円		
営業利益 1,873 _{百万円}	60.4 %	3,100		
経常利益 3,059 _{百万円}	55.6 %	5,500		

セグメント情報(前年同期比)



(単位:百万円)		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
産業素材 一	売上高	21,372	22,144	+772 +3.69	
	営業利益	521	356	▲ 165 ▲ 31.79	
特殊素材 一	売上高	10,342	10,597	+255 +2.59	
	営業利益	▲7 1	884	+955 -	

産業素材

- 段ボール原紙・クラフト紙ともに販売数量は 前年同期を下回ったが、資材価格の高騰で原 価が上昇、NTIへの販売価格も上昇したこと で売上高自体は前年比で増加
- 水力発電所の設備トラブルにより約1.5か月 電力販売がストップしたことで売電事業にお ける売上・利益が前年比で減少

特殊素材

- 特殊印刷用紙の国内需要は引き続き減少しているが、特殊機能紙の数量は回復し、売上・利益を下支え
- 資材価格の安定と価格改定効果などにより増益

セグメント情報(前年同期比)



(単位:百万円)		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
生活商品 -	売上高	9,022	9,283	+261	+2.9%
	営業利益	258	339	+81	+31.2%
環境関連	売上高	5,290	8,084	+2,794	+52.8%
	営業利益	23	215	+192	+801.0%

生活商品

ペーパータオルも販売数量は 堅調に推移したものの、売上・ 利益増加は主にトイレットペーパーの価格改定効果と数量増加によるもの

自然環境活用事業

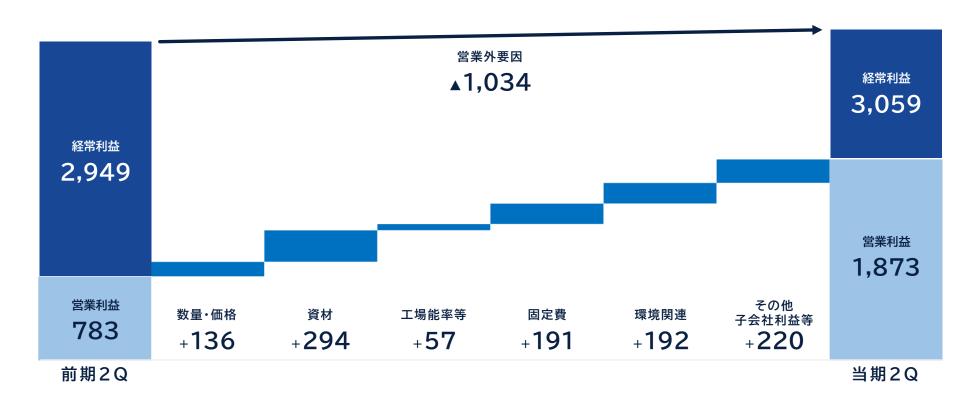
- ▶ 土木業が好調
- 第3四半期にはウイスキー の販売をスタート

資源再活用事業

- マテリアルリサイクルを行う トーエイが好調
- 廃棄物収集・中間処理を営む 貴藤の収益を当第2四半期 から取り込む

利益の増減要因(前年同期比)





主な要因

- 水力発電の電力販売減による減益を特殊素材、生活商品の価格改定効果で打ち返した結果、
 - 数量・価格要因で+136
- 主に輸入パルプの価格も安定し資材要因で +294

● トーエイの有価物販売やレックスの集荷数量が 増加した他、建設事業において工事が順調に進捗 したことにより環境関連で+192

通期業績予想



	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想		前年同期比	
	大限	修正前	修正後		
売上高	86,517	93,000	95,000	+8,483	+9.8%
営業利益	2,296	3,100	4,000	+1,704	+74.2%
経常利益	6,188	5,500	6,200	+12	+0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,590	4,300	4,300	▲290	▲6.3 %

売上高·営業利益

● 特殊紙やトイレットペーパーの価格改定効果、及び 特殊機能紙における堅調な需要を見込む

経常利益

持分法投資利益は前年同期比減を見込むものの 営業利益の増加により前年並みを予測

通期業績見通し 営業利益の増減要因(前年比)





主な要因

- 下期にかけて特殊素材・生活商品における前年 比での数量回復、価格改定効果の発現を予測し 数量・価格要因で+767
- 甲安基調による輸入パルプの高騰など、 原燃料価格は依然高止まりが想定されるため 資材要因で▲313
- トーエイの続伸、及び貴藤・駿河サービス工業に おける7月以降の建設業界の処理量回復等を 見込み環境関連で+292

成長戦略

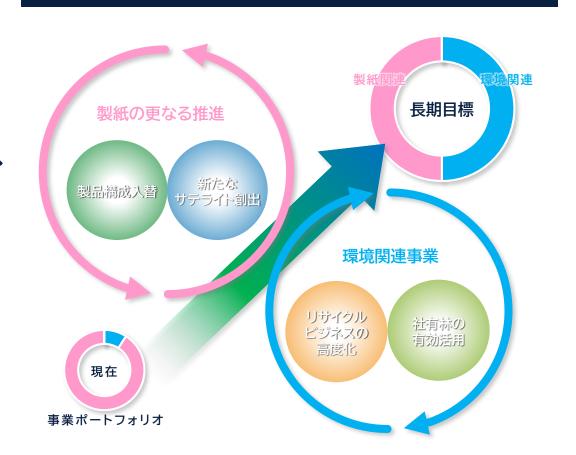


製紙×環境の両輪でオンリーワンビジネスを追求し、 持続可能な事業ポートフォリオを構築する

製紙中心から製紙:環境=50:50の事業ポートフォリオへ

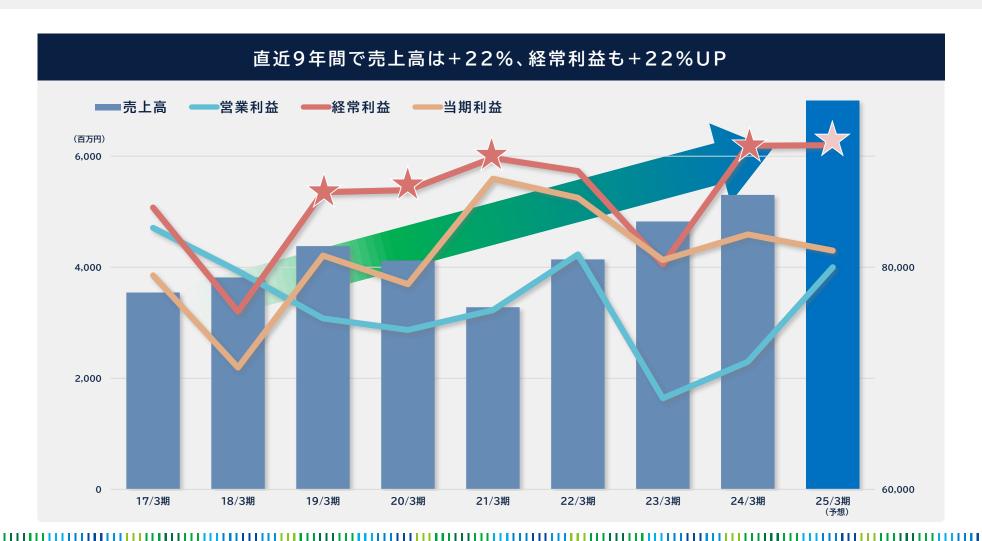
技術と信頼で 顧客と共に未来をひらく オンリーワンビジネス企業へ

製紙と環境の両事業で顧客ニーズに寄り添い 他社では真似できない 製品・サービスの提供を目指す



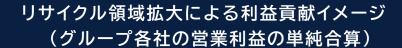


連結業績は9年間で着実に伸長 当期は経常利益において5回目の最高益更新を見込む



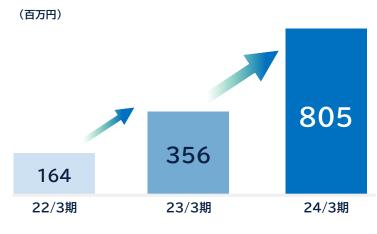


環境関連事業へ積極的に経営資源を投入 リサイクル事業を中心に利益を積み上げている



環境関連事業の営業利益推移 (単純合算)





グループ全体の 利益率向上へ寄与させていく

▶ 更なる差別化に向けて



培ってきた技術・ノウハウを進化させ、 新しい挑戦に繋げていくことで更なる差別化を図る

環境関連事業

これまでの取組み

- ・RPFの自給自足
- ・直近3件のM&Aアライアンス
- ・ウイスキーの製造

幅広いリサイクル技術森林資源へのノウハウ

製紙起点のサーマルから マテリアルリサイクルへ展開 24,430haの自然資本

最終顧客に寄り添う 製品ラインナップ

素材に留まらず最終製品に近い 立体物での提案活動も実施

特殊素材事業

これまでの取組み

- ・様々な素材の紙化
- ・パッケージ事業の立ち上げ

産業素材事業

これまでの取組み

- ・バイオマスボイラ早期導入
- ・島田工場13Bの建設

工場の低炭素操業

業界平均1/3以下の CO₂排出量で産業用紙を生産

▼ 品質・ブランドカ

ラミネート加工技術等 様々なノウハウを保有

生活商品事業

これまでの取組み

- ・環境配慮型製品群の拡販
- ・生分解性ラミの開発

それぞれの事業分野の強みを伸ばす新たな取組みを進める

オンリーワン ビジネス

製紙関連の新たな取組み

これまでとこれから

産業素材事業

特殊素材事業

生活商品事業





産業素材事業の概要



主な事業

- 段ボール原紙・クラフト紙などの産業用紙
- 水力発電による売電事業

基本情報

● 主要拠点 : 島田工場(静岡県島田市)

● 主なスキーム : 産業用紙は日本製紙㈱との

合弁会社より外部顧客へ販売

産業素材事業における差別化に向けた取組み これから これまで 成果 カーボンニュートラル ● バイオマスボイラ早期導入 工場の低炭素操業 実現に向けて ● 島田工場13Bの建設 業界平均1/3以下の 着実に歩みを進める CO₂排出量で産業用紙を生産

・ 産業素材事業の取組み



東芝エネルギーシステムズ株式会社・中部電力株式会社・島田市と連携し 新東海製紙島田工場で岩石蓄熱発電の実証試験へ

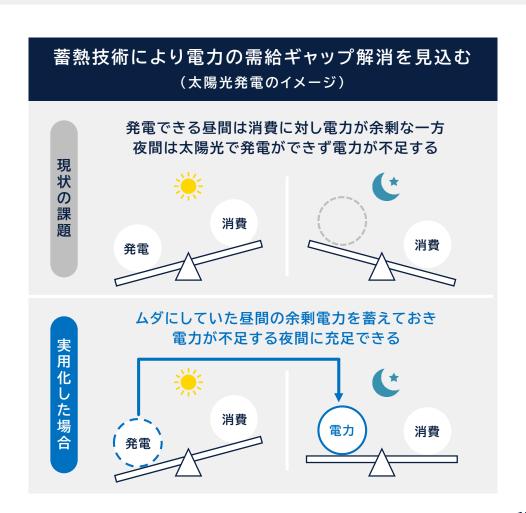
カーボンニュートラルに向けた エネルギー課題解決へ貢献

- 岩石蓄熱発電は、余剰な電力で発生させた熱を貯蔵し、 必要に応じてこの熱で蒸気を作りタービンを回転させることで 電力を生み出す技術
- 島田工場に熱容量約10メガワット時の実証機を設置し 運用性の確認などを実施



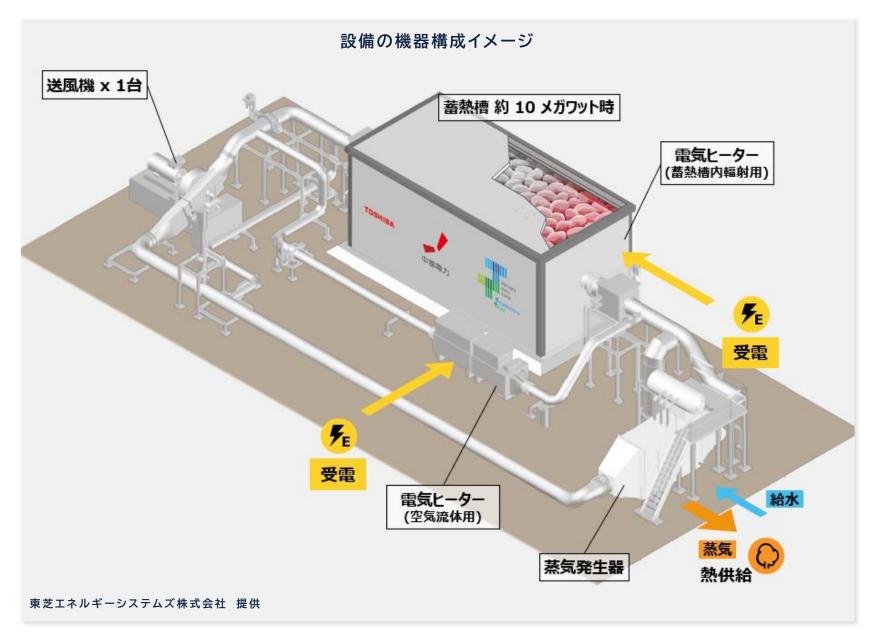
実証試験を経て島田工場への導入要否の検討を開始 (想定される効果: 2,000t-CO₂/年の削減)

脱炭素社会に向け 新技術の開発を推進していく



━ 産業素材事業の取組み





• 特殊素材事業の概要



主な事業

- ファンシーペーパー・高級印刷用紙
- 特殊機能紙
- パッケージ事業

基本情報

● 主要拠点 : 三島工場(静岡県駿東郡長泉町)

● 生産の特徴 : 多品種・小ロット生産

特殊素材事業における差別化に向けた取組み これまで これから 成果 社会の変化に合わせ ● 様々な素材の紙化 ニッチな市場で 成長が見込まれる 高いシェアを獲得 ● パッケージ事業の立ち上げ 製品群・市場ヘシフト 素材(シート)に留まらず 立体物での提案活動も推進

特殊素材事業の取組み



需要拡大が見通される非フッ素耐油紙の 製品ラインナップ拡充・営業体制の強化を進める

食品包装向けフッ素耐油紙市場規模

7~8_{千t/年}



ノンフッ素耐油紙へ 移行の見込み

人体・環境に優しい

- 耐油紙に使用される有機フッ素化合物は人・環境へのリスクが指摘されている
- 国内でも規制強化が進むほか企業でも排除の動き
- 現在のフッ素耐油紙の市場がノンフッ素へ置き換わりが進む



- 他社に先駆け05年にノンフッ素 耐油紙を上市
- ▼ 天然成分を由来とした耐油剤を採用 高い耐油性と通気性を両立
- 建物の5階で製造することで虫の 飛来を防ぐなど衛生管理を徹底



大手ファストフード店で採用

印刷用紙等の需要が縮小する中で成長が見込まれる製品へ注力していく



新たな需要が見込まれる国外での市場開拓を図る



国内市場に捉われず顧客ニーズが見込まれる地域には積極的に海外進出していく

特殊素材事業の取組み



パッケージ分野のラインナップを拡充 採用実績の積み重ねを図る

立体分野でのこれまでの取組み例



モウルド事業立ち上げ

● 上六印刷株式会社、株式会社 名古屋モウルドと3社共同で 「株式会社モルディア」を設立



ダブルVカット製法

- 他の製品にはない鋭角な エッジを実現
- CD・DVDボックスに採用

環境配慮の需要が高まるパッケージ市場へ新製品を投入していく

直近の新製品



シルキーモウルド ハガキサイズ

直近の採用事例



株式会社山櫻様 パルプモウルドボックス

ミヨシ商事株式会社様 米粉パンの中仕切り (原紙はトライフのミラックス)



循環型素材である紙の特性を活かして環境配慮へのニーズを取り込んでいく

■ 生活商品事業の概要



主な事業

- ペーパータオル・トイレットペーパー
- ラミネート事業

基本情報

● 拠点数 : 6拠点

● 製品の特徴 : 古紙原料を活用した生産技術

生活商品事業における差別化に向けた取組み これまで これから 成果 業務用を中心に 環境配慮型製品群の拡販 品質とブランドカに 堅調な需要を獲得 更に磨きをかける 生分解性ラミの開発 ペーパータオル、トイレット ペーパーは他社と協業体制を 取りながら市場開拓を進める

━ 生活商品事業の取組み



「エコロジープレミアムトイレットペーパー」 ふるさと納税人気ランキングでトップ

さとふる<中部版>2024年上半期ふるさと納税人気お礼品ランキング

第1位

- 中部版ランキングで食品以外が1位になるのは初
- 全国版のランキングでも 5位にランクイン



引き続き品質・ブランドカの向上を図る

環境関連の新たな取組み

これまでとこれから

資源再活用事業

自然環境活用事業





資源再活用事業の概要



主な事業

- 廃棄物の収集運搬
- 家電・ガラス等の
- 産業廃棄物の中間処理 リサイクル
- RPFの製造・販売

基本情報

- 工場数 14
- 保有車両 約200台

資源再活用事業における差別化に向けた取組み

これまで

- RPFの自給自足
- M&A、アライアンスを 直近で3件実施

成果

製紙工場における RPFの自家消費率

約70%

廃棄物収集・RPF生産・製紙 工場への供給まで グループ内で完結 これから

- RPF生産能力の更なる 強化
- マテリアル・ケミカルで 顧客ニーズ、 新規事業を探索

これらの領域で更なる M & A・アライアンスを推進 サーマルリサイクルに係る取組み



駿河サービス工業で選別プラントが稼働開始 選別量増加・リサイクル率向上へ

従来の手作業で行ってきた 選別作業の一部を機械化



選別精度の向上



幕☆従業員の作業負担軽減



施設概要

最大目標取扱量

150㎡/日

主な取り扱い資源

- 廃プラスチック
- 硬質プラスチック
- 木屑
- 金属くずなど

投入設備

- 1次ふるい機
- 手選別ライン
- 磁力選別機
- 2次ふるい機

RPF原料の供給量増加を図るとともに廃プラのマテリアルリサイクルも開始、 グループ間のシナジー効果最大化へ寄与

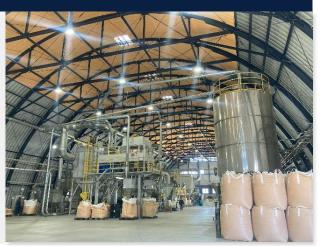


半田港工場内に「プラスチック高純度選別ライン」を導入より幅広いプラスチックのリサイクルが可能に(25年2月稼働予定)

従来対応できなかった顧客ニーズの取り込みを図る

狙い

- 集荷のバリエーション拡大
- 単一素材プラスチックの再生
- 再生原料販売先の新規開拓



設置予定のPDF



製紙事業で培った再資源化技術=粉砕(微細化)・分別も活用 リサイクル領域でも差別化を図る

▶ マテリアルリサイクルに係る取組み



玩具領域における サーキュラーエコノミー推進プロジェクトに協力

廃棄されるはずのおもちゃ

合計2,700kg





- 豊田通商株式会社様、リネットジャパンリサイクル株式会社様 による合同プロジェクトにトーエイが協力企業として参画
- 電気・電池で動くプラスチック製玩具を回収・選別・再資源化、 新しいスタンプにリサイクル
- トーエイは選別、再資源化の工程に参画



今後も企業や自治体等と連携しながら サーキュラーエコノミーの実現に向けて活動



再生プラスチック市場の拡大を目指す団体 Sustainable Plastics Initiative(通称SusPla)ヘトーエイが参画



その他の取組み



株式会社ゼロワンブースターが主催するスタートアップ創出を目的とした 東京都協定事業「Studio10X」へパートナー企業として参画

プロジェクトの概要

- パートナー企業の専門領域における課題、特定のテーマや活用可能なリソースを提供
- プログラム参加者 = 起業志望者が課題やテーマに対するアイデア・事業を開発
- パートナー企業とベンチャースタジオが伴走支援を行いながらスタートアップを創出



プロジェクトの主な領域

環境 / 建設 / まちづくり・不動産 / 物流

---- 当計が担当

- 建設廃棄物の有効活用
- ・ グリーンコンストラクション
- ・生物多様性への対応、カーボンニュートラルへの対応

パートナー企業参画のメリット

資源再活用における 課題解決の機会づくり

社会・業界・自社が抱える課題をスタートアップ創出の起点とするため新しいアイデアに出会うことができる

魅力的なスタートアップ企業 との早期連携

当社にとって魅力的なスタートアップが創出された際は 他社に先駆けて連携することが可能

自然環境活用事業の概要



主な事業

- 山林の経営
- ウイスキーの製造・販売
- 土木建築観光事業
- 基本情報

● 井川社有林の面積

● 山林に係る認証等

約24,430ha 自然共生サイト 森林由来Jクレジット制度

自然環境活用事業における差別化に向けた取組み

これまで

森林資源の保護保全と 有効活用に向けた探索

- 自然共生サイトへの認定をはじめ、 企業・地域との協力関係の構築や 森林由来J-クレジットの創出など、 自然資本の保護と活用の両立を推進
- 自然資本活用の一環として 20年よりウイスキーの製造・熟成をスタート

成果

ウイスキー販売に 向けた井川蒸溜所の ブランド醸成

熟成3年未満のウイスキーになる前の スピリッツ=ニューボーンを発売 (計5種類)

これから

● ニューボーンから シングルモルト12年に 繋がるウイスキーを展開

自然価値の還元に向けて 取組みを活発化

自然資本の価値活用



24年11月中旬 井川蒸溜所シングルモルトウイスキー第1弾を発売



Flora & Fauna of the Alps 2024

商品詳細

● 商品名 : シングルモルト デッサンシリーズ フローラ2024

● 販売本数 : 約6,000本

● 希望小売価格 : 15,000円(税抜き)● 発売時期 : 24年11月中旬



ウイスキー事業を皮切りに 南アルプスが持つ自然価値を社会へ還元していく

今回第1弾をリリースした"Dessin Series"は 南アルプスを彩る生態系がモチーフ



- 今後はフローラとファウナを 半年ごとにリリース予定 (次回は25年5月を予定)
- 豊かな生態系を育む南アルプスでしか 造れないウイスキーを追求

自然価値の還元に向けた新たな取組みを活発化していく

(例:森林由来Jクレジットの活用、大成建設・静岡市と協力しながら利用と保全の好循環づくり)

ユニークで存在感のある企業集団として、 長期目標 社会と環境に貢献する 将来の事業ポートフォリオ 製紙 環境関連 両輪での 更なる推進 サテライト 社会への提供価値 環境関連事業 地球環境との共生 リサイクル 社有跡の 脱炭素への貢献 ビジネスの 自然資本の価値提供 資源の有効利用 現状の事業ポートフォリオ ●脱プラへの貢献 ●細やかな製品対応、 サービス提供 地域・社会との共生 目指すべき企業像 技術と信頼で 文化興隆への支援 • 安全と健康 顧客と共に未来をひらく • 多用な人財の活躍 • 生産性の向上 オンリーワンビジネス企業

2025年3月期第2四半期決算說明会

特種東海製紙株式会社(プライム3708)